

開きドア

DRF50

取付け要領書

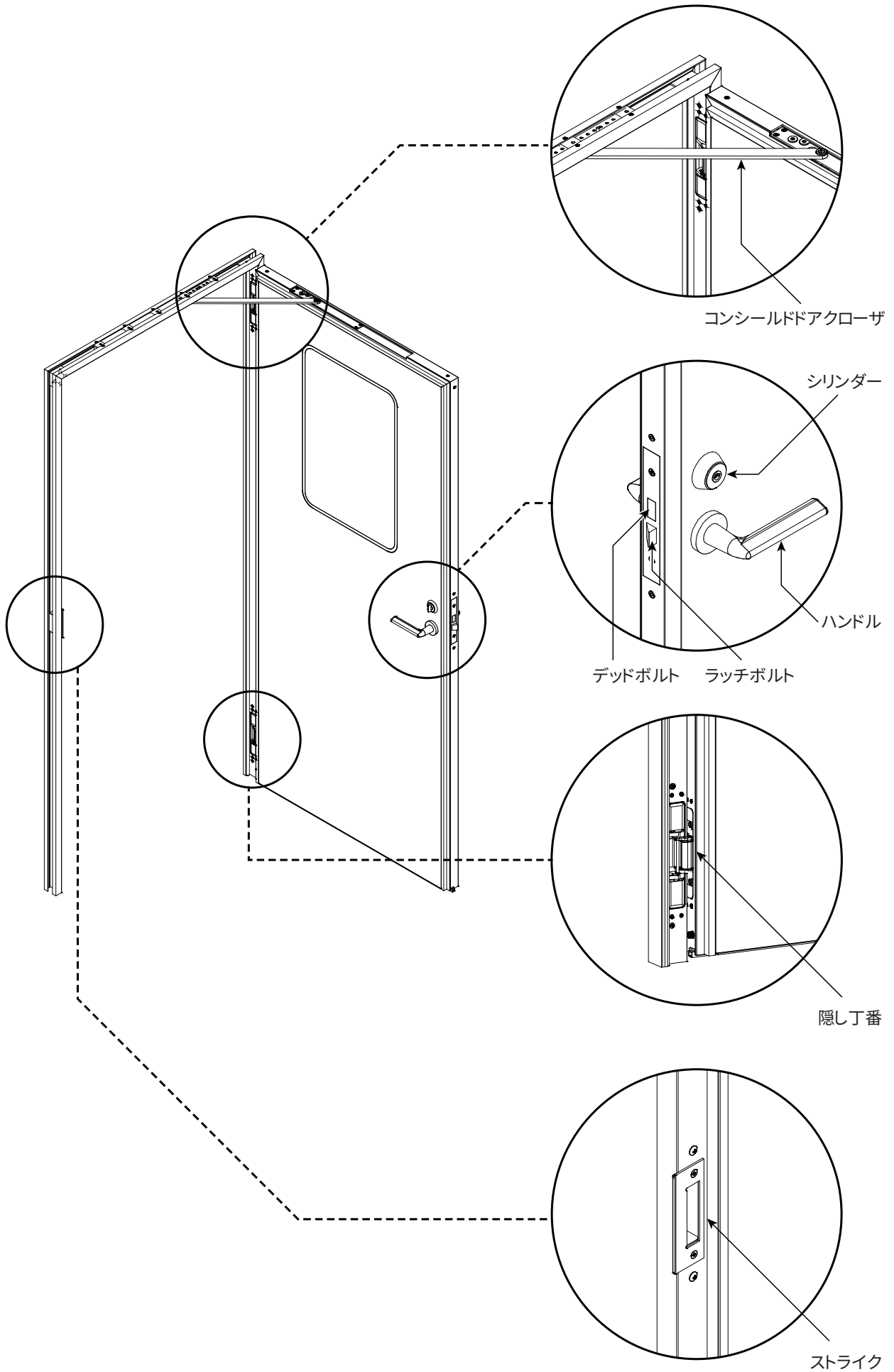
01902-ANK-002-02

サンワイズ株式会社 本社

〒424-0204 静岡県静岡市清水区おきつな興津中町848
TEL : 054-360-3222 FAX : 054-360-3227

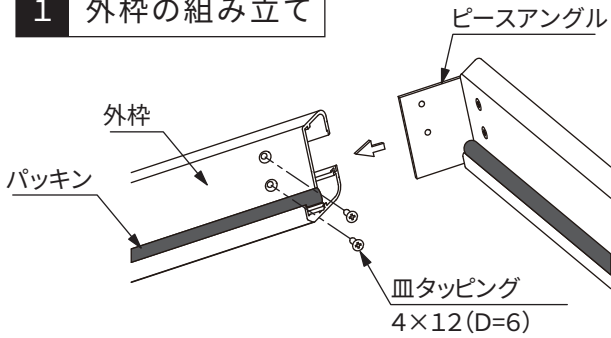
URL : <http://www.sunwizz.co.jp/>

構造と各部の名称

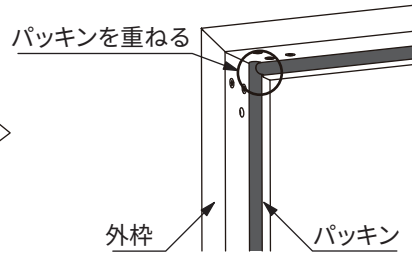


工事手順について

1 外枠の組み立て

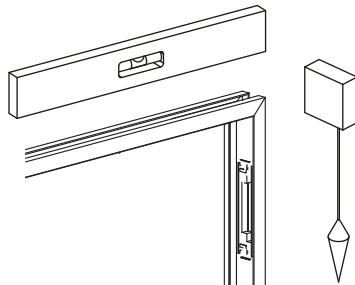


上下枠に取り付けされているアングルピースを縦枠に差込み、皿タッピング4×12(D=6)で固定します。



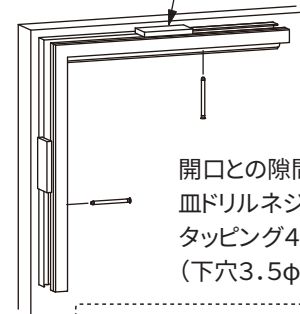
上下枠コーナー部のパッキンを縦枠パッキンに重ねます。

2 開口部への取付け



外枠を開口部に納め、下げ振りやレーザー等で前後・左右のころび、水準器などで水平を調整します。

隙間にはライナーを入れて下さい。入れずに固定すると枠のねじれや変形がでます。



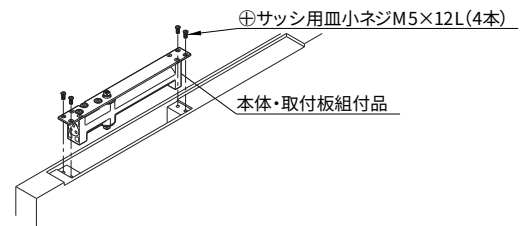
開口との隙間にライナーを入れて、皿ドリルネジ4×50または皿タッピング4×50で固定します。(下穴3.5φ)

! 建て付け調整は正確をお願いします。

3 コンシールドドアクローザの取付け

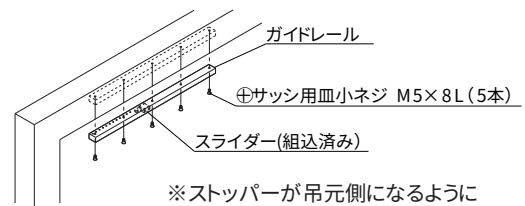
● ドアクローザ本体をドアに取り付ける

皿小ネジM5×12Lを4本使い、コンシールドドアクローザ本体をドア上部に取り付けてください。



● ガイドレールを上枠に取り付ける

皿小ネジM5×8Lを5本使い、コンシールドドアクローザのガイドレールを取り付けます。ストッパーが吊元側になるようにガイドレールを上枠に取付けてください。



4 ドアの吊り込み

● 丁番の差し込み

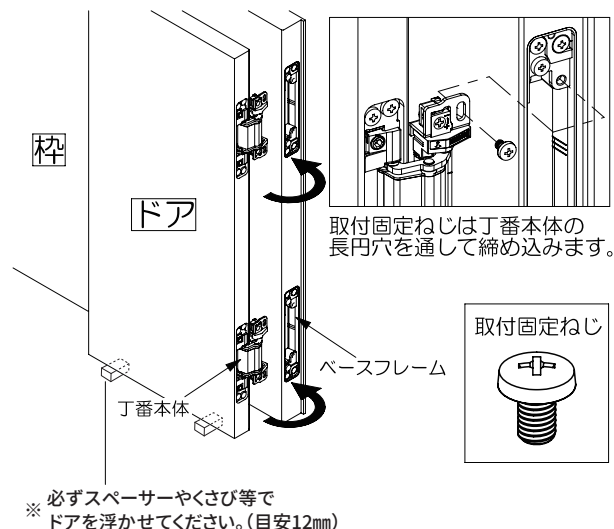
必ずドアを持ち上げてから、上下の丁番本体を同時にベースフレームの奥まで差し込みます。仮止機能により一時的にドアがベースフレームに保持されます。

⚠ ドアの吊り込み作業は、吸盤器等を用いてゆっくりと行ってください。指を挟まないようご注意ください。

● 取付固定ねじの仮締め

取付固定ねじを、枠側の丁番本体の両端2箇所にある長円穴からベースフレームに仮締めします。これでドアの開閉が可能になります。

⚠ 仮止状態のままでドアの開閉やドアに力をかけないでください。ドアが外れてケガをする恐れがあります。必ず取付固定ねじを仮止めしてください。



5 コンシールドドアクローザの接続

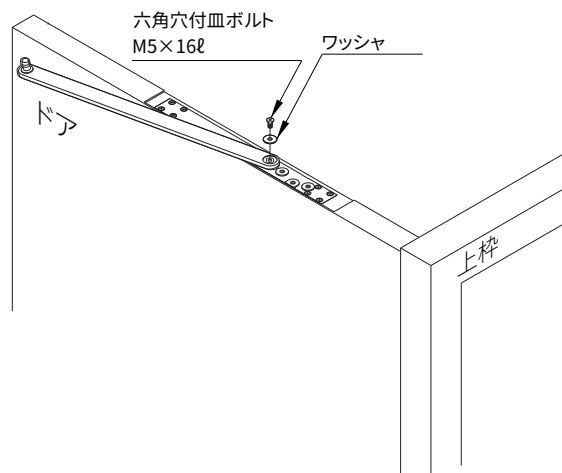
● アームを本体に取り付ける

アームを、六角穴付皿ボルトM5×16ℓとワッシャでドアクローザ本体に取り付けてください。取り付けにくい場合は、次の要領で取り付けてください。

1. ドアを90°開き、第1、2速度調整弁を全開にしてください。
2. アームを80°の位置で主軸に結合し、矢印方向に90°回転させてください。
3. アームを直ちに外し、80°の位置で再び結合し、六角棒スパナでしっかりとネジ止めしてください。

⚠ アーム再結合後、直ちにスライダと結合してください。結合しない状態で放置されますとアームが戻り、ドアが破損する恐れがあります。

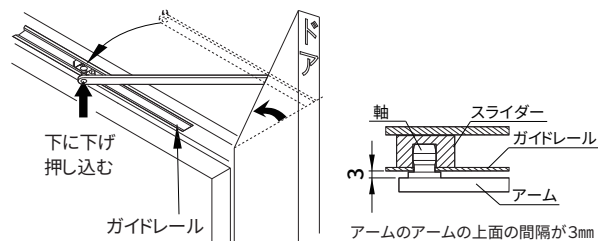
アームと本体を結合するネジは緩み止め加工を行っております。緩み止め加工されたネジを着脱後に再利用した場合、固着力が著しく低下します。そのため固着後の再利用は行わないでください。



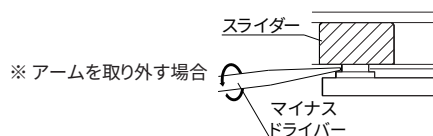
● アームとスライダの組付け

アームをスライダ側に回転させ、アーム先端を少し引き下げた後、スライダの穴にアームの軸を押し込んでください。正しく結合されると、右図のようにガイドレールの下面とアームの上面の間隔が3mmになります。

※アームを外す場合、ドアを少し開けて、マイナドライバーをスライダの下面についているナベ小ネジとアームの間に差し込んで、外してください。



⚠ アームとスライダ組付け後、すぐに速度調整を行ってください。速度調整を行う前にドアを無理に閉じますと故障の原因になります。



6 隠し丁番の調整

● 上下方向の調整 [十字ねじ回し2番]

ドアを持ち上げ、上下調整ねじ(下側)を回して、上部の枠とドアのチリを6mmに調整した後、取付固定ねじを本締めします。最後に上下調整ねじ(上側)を丁番本体にあたるように内側に寄せてください。



ドアの位置が高すぎると開閉時にコンシールドドアチェックとドアが接触してしまうためご注意ください。

取付固定ねじが仮締め状態にある場合、ドアが下がる事があります。その場合は、ドアを持ち上げたまま取付固定ねじの本締めを行ってください。

上下調整ねじの締め推奨トルクは1.5~2.0N・mです。

● 左右方向の調整 [十字ねじ回し2番]

吊元の枠とドアのチリを4mmに調整します。左右調整ねじを右(+)方向に回すとチリが大きくなり、左(-)方向に回すとチリが小さくなります。



ドアの位置が吊元に近すぎると開閉時に枠とドアが接触してしまうためご注意ください。

調整は、丁番本体2箇所のねじをそれぞれ少しずつ回し、同じ調整量になるようにしてください。片方のねじだけで無理に調整すると、破損や不具合の原因となります。

取付固定ねじの締め推奨トルクは1.5~2.0N・mです。

左右調整ねじは取り外さないでください。また、左右調整は+2mm以上出さないでください。ドアが外れてケガをする恐れがあります。

● 前後方向の調整 [六角棒スパナ(呼び4) ※お客様で ご用意ください。]

前後調整ねじを左(+)方向に回すとドアを前方向へ調整でき、右(-)方向に回すとドアを後ろ方向へ調整できます。



調整は、丁番本体2箇所のねじをそれぞれ少しずつ回し、同じ調整量になるようにしてください。

● 増し締め [十字ねじ回し2番]

調整完了後に取付固定ねじの増し締めを行ってください。

● ねじカバーの装着

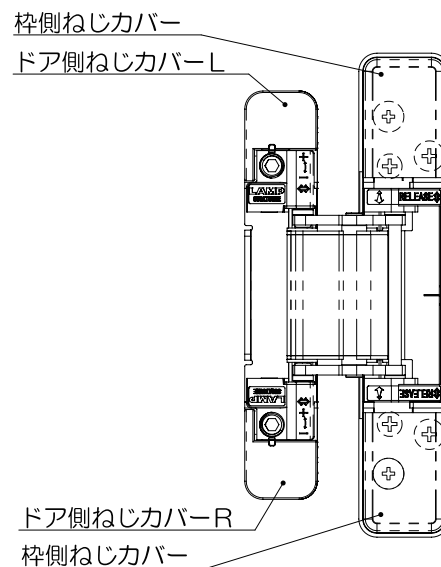
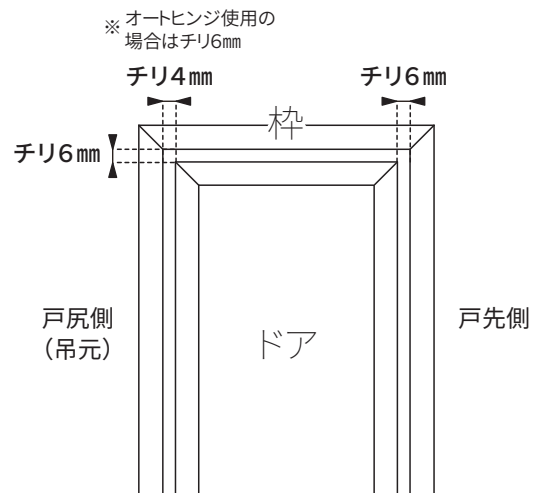
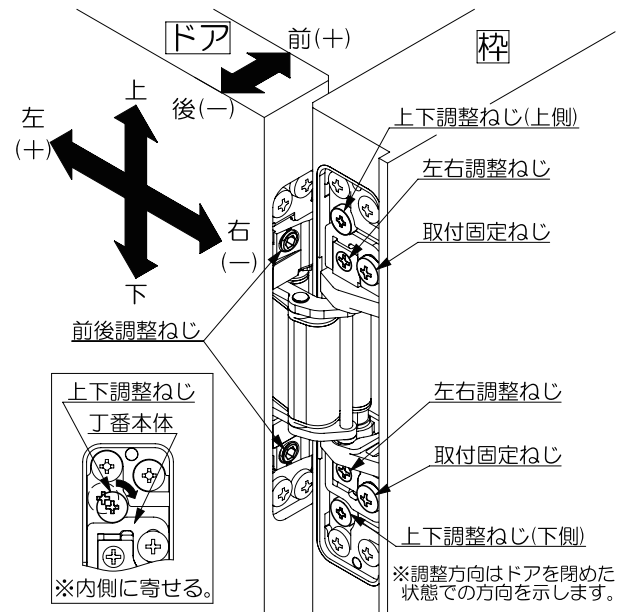
ねじカバーをはめ込みます。正しい位置に正しい向きではめ込んでください。特にドア側のねじカバーはL・Rがありますのでご注意ください。

● 最終確認

扉を閉めてチリ・パッキンの密着を確認してください。チリ・パッキンの密着に問題がある場合には再度調整して下さい。開口部の隙間はコーキングでシール処理してください。



ドアの吊り込み作業時は指を挟まないよう、注意して行って下さい。

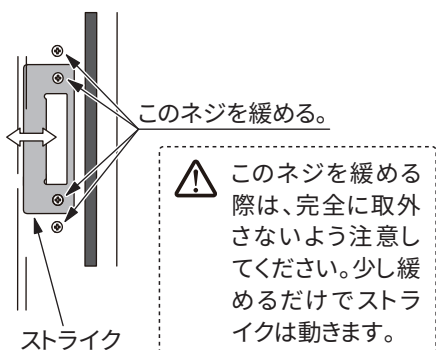


7 その他の調整

(1) ストライクの調整

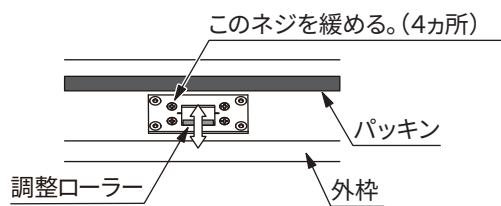
図の箇所のネジを緩めて、ストライク・調整ローラーをスライドさせて調整します。

●レバーハンドル・丸ノブの時



(2) ローラー調整受けの調整(グレモンハンドルの時)

外枠上下枠に付いているローラー調整受けの、図の箇所のネジを緩めて、調整ローラーをスライドさせて調整します。

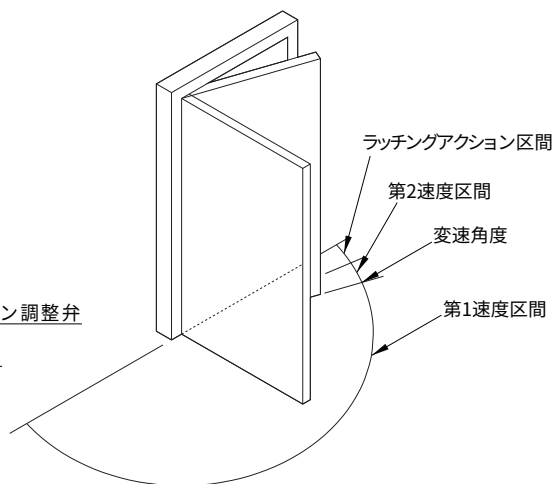
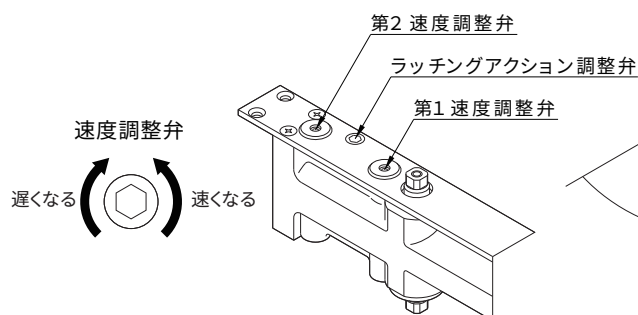


(3) コンシールドドアクローザの調整

●速度調整方法

調整は、第一1速度、第2速度、第3速度(ラッチングアクション)の順に行ってください。

第3速度(ラッチングアクション)は、ドアが閉位置手前2°付近まで来た時点で素早く閉める機能です。



●ストップ角度の調整方法

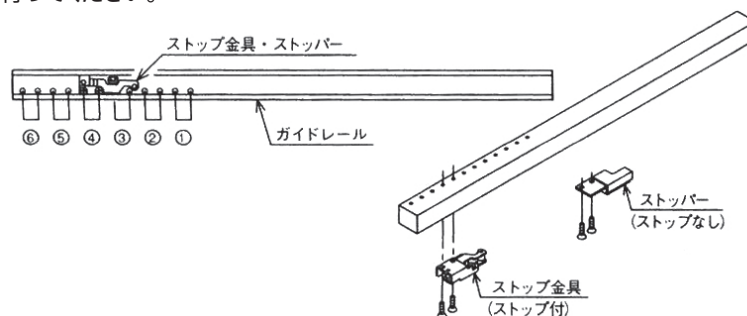
ドアをストップさせる角度にストップ金具またはストッパーを取付けてください。

ストップ付にストップ金具を、ストップなしにストッパーを取付けてください。

ストップ角度の調整はガイドレールの①～⑥の位置で、ネジを使用し、右のストップ角度表に準じて行ってください。

ストップ角度表

ストップ金具・ストッパー 取り付け位置	①	②	③	④	⑤	⑥
持出吊標準取付	76°	81°	86°	91°	97°	104°



※ オートヒンジの調整方法につきましては、それぞれの説明書を参照してください。

MEMO

A series of horizontal dotted lines for writing.

注意事項

- ①施工する前のドア、間枠材は直射日光の当たらない場所へ保管して下さい。保管の際は、長時間の横積み状態はなるべく避けて下さい。ドアが反ってしまう恐れがあります。
- ②ドアに物を立て掛けたり、ドアと枠の間に物を入れたりしないでください。ケガをしたり、ドアに障害が発生する恐れがあります。
- ③ハンドルにぶらさがったり、足場にしたり、物を掛けたりしないでください。危険ですし、錠前が正常に機能しなくなる恐れがあります。
- ④錠前は分解、改造しないでください。中の部品が飛び出して思わぬケガをしたり、正しく組立て直すことが出来なくなることがあります。
- ⑤デッドボルトを出したままドアの開閉をしないでください。デッドボルトの突起が身体に当たる危険があるばかりでなく、ストライクや枠を傷めます。
- ⑥ドアクローザは、ドアを自動的に閉じるためのもので、油圧によりゆっくり閉じる構造になっています。季節の温度変化等により、ドアの閉じる速度が変わることがあり、極端に速度が速くなるとケガをすることがあります。ドアの閉じる速度は、調整弁によりコントロールすることができますので、調整してください。
- ⑦ドアクローザは分解、改造しないでください。中の部品が飛び出して思わぬケガをしたり、正しく組立て直すことが出来なくなります。